

# (仮称)デザイン計画

## (中間とりまとめ)

この中間とりまとめは、2019年度(平成31年度)に策定する(仮称)デザイン計画について、2018年度(平成30年度)の福山駅前デザイン会議の議論などをもとに、現時点の内容をとりまとめたものです。

2019年(平成31年)3月  
福山市

## 目次

<b>I はじめに</b>	…2
1 デザイン計画の目的	…2
2 デザイン計画の位置付け	…2
3 デザイン計画の期間	…2
4 福山駅周辺エリアの現状と課題	…2
<b>II 福山駅周辺エリアの価値を高める戦略</b>	…4
1 福山駅周辺の4つのエリア	…4
2 戦略	…5
<b>III 各エリアの価値を向上するための優先的な取組</b>	…6
・新しいシゴトの創出	…6
・ICT, IoT, AIを活用した生活の質の向上	…6
・公民連携による駅前再生の仕組みづくり	…6
・エリアマネジメント	…6
・地域インフォメーションデザイン	…6
・福山駅前広場の再整備	…7
・駐車場の再編	…7
・福山駅周辺エリアをつなぐ動線の形成	…7
・パークPFI等の導入	…7

2018年度(平成30年度)

今年度の福山駅前デザイン会議において議論された内容を取りまとめたものです。

2019年度(平成31年度) 検討事項

斜字体で表記しているものは、2019年度(平成31年度)に福山駅前デザイン会議において議論を行っていくものです。

<b>IV 4つのエリアビジョン</b>	…8
・福山城周辺エリア エリアビジョン ロードマップ	…9
・伏見町周辺エリア エリアビジョン ロードマップ	…10
・三之丸町周辺エリア エリアビジョン ロードマップ	…11
・中央公園周辺エリア エリアビジョン ロードマップ	…12

参考

用語解説

…13

# I はじめに

## 1 デザイン計画の目的

福山駅前再生は、福山駅前再生ビジョン(以下「ビジョン」という。)に掲げる「働く・住む・にぎわいが一体となった福山駅前」の実現を通じ、現在抱えている都市経営課題を解決することで、縮退化する時代であっても、福山市が持続的に発展し続ける都市となることをめざすものです。

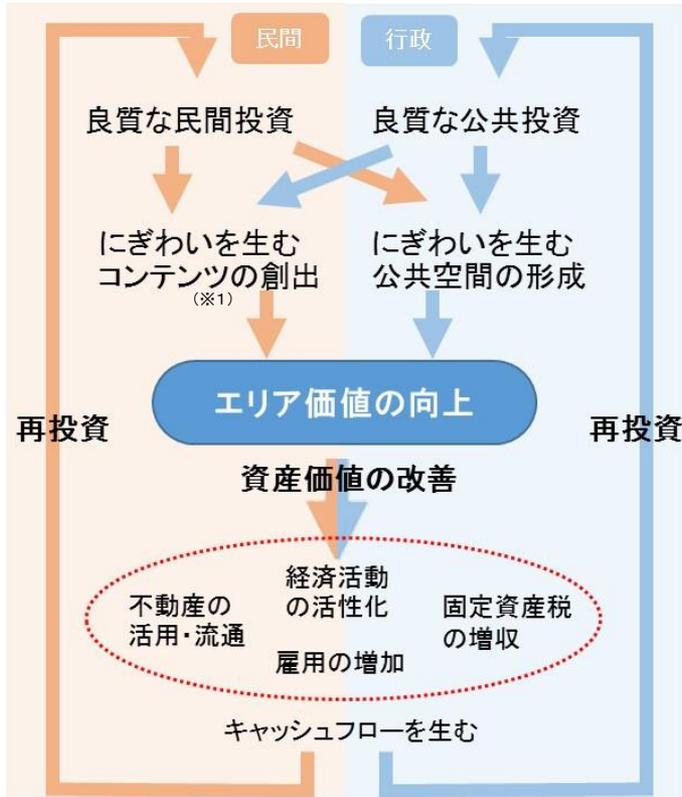
### 【都市経営課題】

- ・自立した自治体経営に必要な財源の確保
- ・若年層の流出抑制
- ・稼ぐ力の向上
- ・福山駅周辺のエリア価値の向上
- ・戦略的な情報発信

これらの課題に対応するため、エリア価値を高める経済循環【図1】を再構築し、都市機能の集積・強化を進めることで、持続可能なサービスの提供を図り、だれもが安心・安全に生活できる暮らしを実現します。

デザイン計画は、良質な民間投資を呼び込むソフトとハードのプロジェクトを定めるものです。これに掲げるプロジェクトを実行していくことで、福山駅前エリアを備後圏域の玄関口としてふさわしい魅力とにぎわいのある都市空間へと再生します。

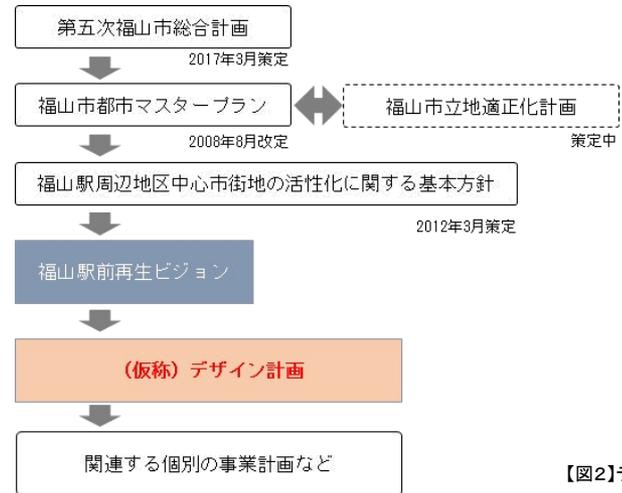
そして、その効果を福山駅周辺、市全域、備後圏域全体へと広げていくことをめざします。



【図1】 エリア価値を高める経済循環

## 2 デザイン計画の位置付け

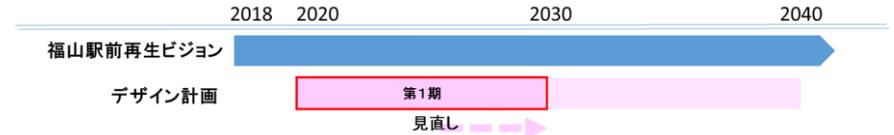
デザイン計画の位置付けは、次の図のとおりです。



【図2】デザイン計画の位置付け

## 3 デザイン計画の期間

デザイン計画は10年を1期として策定し、概ね5年を目途に社会情勢の動向を見極めながら適宜見直します。



【図3】デザイン計画の期間

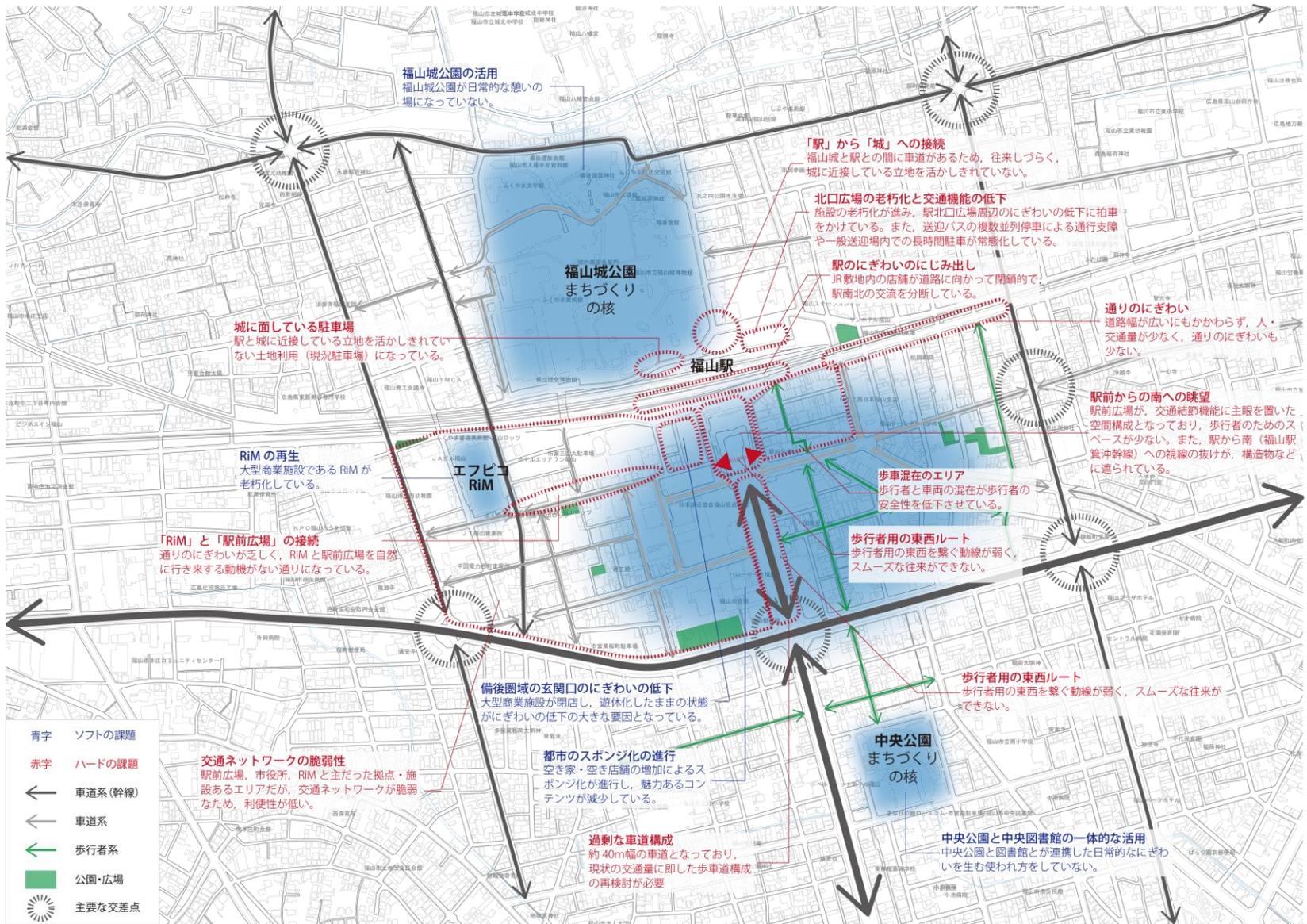
## 4 福山駅周辺エリアの現状と課題

福山駅周辺エリアには、現在次のような問題があります。

- ・都市のスポンジ化(※2)の進行
- ・魅力あるコンテンツの減少
- ・地価低落状態の継続
- ・伏見町内の居住人口の減少
- ・観光客数の伸び悩み
- ・公共施設・公共空間の低利用
- ・交通機能の脆弱性
- ・誇りと愛着の低下

など

【図4】福山駅周辺エリアの現状と課題



## II 福山駅周辺エリアの価値を高める戦略

### 1 福山駅周辺の4つのエリア

デザイン計画では、駅前再生の重要なエリアとなる伏見町地区と三之丸町地区が含まれる都市再生緊急整備地域を中心に福山城周辺、中央公園周辺を優先的に整備等を行うエリアとし、エリア価値を高める民間投資を促します。

それぞれのエリアが有する特性や既存の公共施設などは次のとおりです（一部エリア外にある施設等を含みます。）。

#### 福山城周辺エリア

上段: エリア特性  
下段: 主な公共施設など

福山城公園や美術館などの文化施設が多くあり、その周辺には緑地も多い。エリアの西側と東側は主に居住区域となっている。

・福山城 ・福山城公園 ・福寿会館 ・ふくやま美術館 ・ふくやま文学館 ・福山市人権平和資料館  
・広島県立歴史博物館 ・しぶや美術館 ・福山駅 ・駅北口広場 ・さんすて ・商店街  
・備後護国神社 ・三蔵稲荷神社 ・福山八幡宮 ・ビジネスホテル ・大規模駐車場 ・蓮池川  
・御手洗川 など

#### 伏見町周辺エリア

広域交通ネットワークが形成された来街者の出入口。エリアの西側は商業、業務、飲食関係での利用が多い。エリア内の宮通りや久松通り、本通りなどには商店街がある。東側は、居住区域となっている。

・福山駅 ・駅前広場 ・ばら花壇 ・駅前交番 ・バス・タクシー乗降場 ・バス案内所 ・さんすて  
・天満屋 ・商店街 ・宮小路公園 ・上市公園 ・とおり町交流館  
など

#### 三之丸町周辺エリア

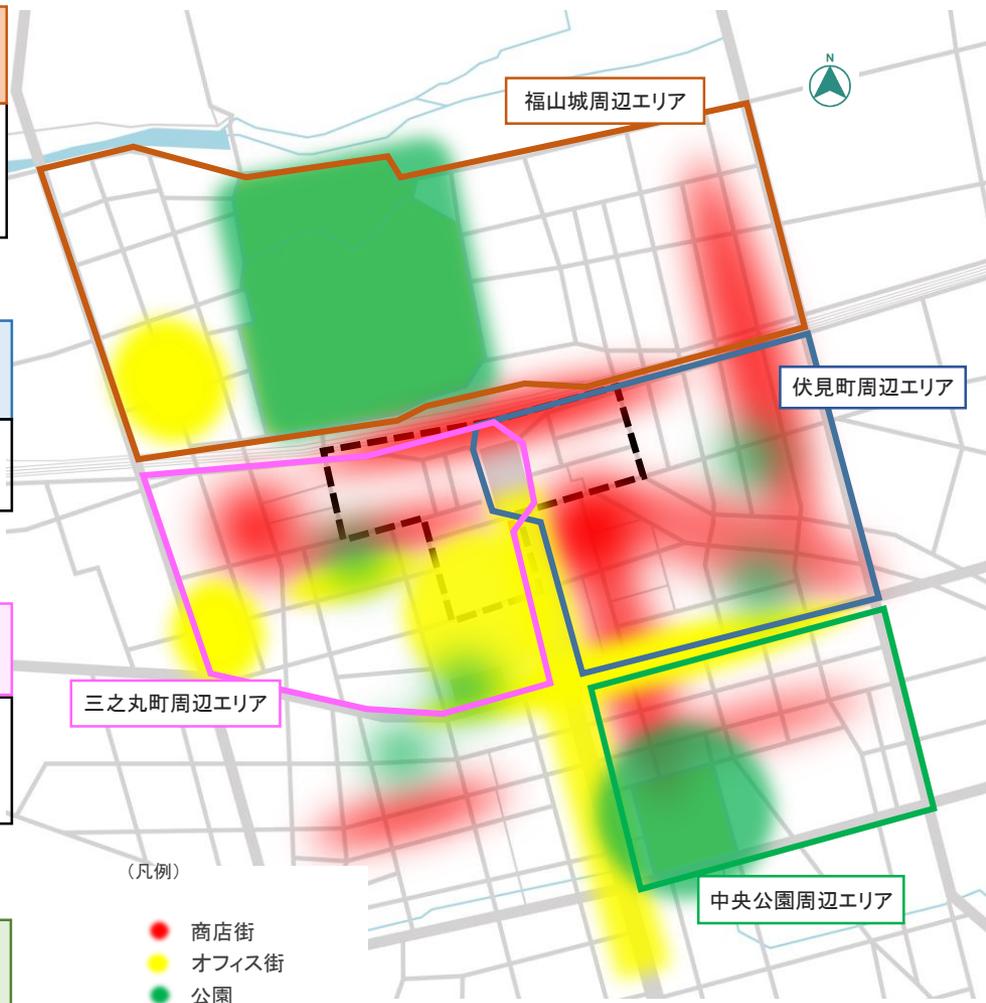
広域交通ネットワークが形成された来街者の出入口。市役所やハローワーク、県民文化センターふくやまなどの公共施設が集積している。また、市道福山駅西町線などには商店が集積している。近年はマンション建設が多く、人口は増加傾向にある。

・福山駅 ・駅前広場 ・ばら花壇 ・バス・タクシー乗降場 ・バス案内所 ・五浦釣人像  
・シティホテル ・ビジネスホテル ・オフィス ・三之丸公園 ・市役所(広場) ・ハローワーク  
・県民文化センターふくやま ・エプピコRiM ・アイネス ・さんすて ・商店街 ・大規模駐車場  
など

#### 中央公園周辺エリア

中央公園や中央図書館があり、学びや憩いの拠点としての役割を担っている。エリアの北側は業務、東側は飲食店が多い。また、エリアの中央付近には商店街がある。

・まなびの館ローズコム(中央図書館、生涯学習センター、国際交流スペース) ・中央公園 ・誠之館石碑  
・福山市立南小学校 ・商店街 ・学習塾 ・道三川  
など



【図5】4つのエリアと現在のまちのイメージ

2 戦略

福山駅周辺エリアの価値を高めるため、ビジョンに掲げる6つの柱に基づき、次の7つの戦略を立てて、取り組みます。

<b>戦略1</b> 新たな産業の創出	<b>戦略2</b> QOLを高めるライフスタイルの提供	<b>戦略3</b> 公共空間の活用と整備	<b>戦略4</b> 民間事業者が活動しやすい環境づくり
<b>戦略5</b> 再生に必要な人材の育成	<b>戦略6</b> 公民の連携	<b>戦略7</b> 地域インフォメーションデザインの構築	

具体的な取組を整理すると次の表ようになります。なお、赤字は、優先的な取組を表しています。

【図6】 戦略体系図

働く・住む・にぎわいが一体となった福山駅前

ビジョン 6つの柱	01 福山の伝統と柔軟なアイデアが出会うビジネスの拠点づくり	02 新しいライフスタイルの実現	03 福山城などを活用したにぎわいの創出	04 ヒト・モノ・カネの活発な交流を支える交通環境の充実	05 地域づくり・人づくり	06 戦略的な情報発信
戦略	戦略1 新たな産業の創出	戦略2 QOL(※3)を高めるライフスタイルの提供		戦略3 公共空間の活用と整備		戦略4 民間事業者が活動しやすい環境づくり
	戦略5 再生に必要な人材の育成	戦略6 公民の連携	戦略7 地域インフォメーションデザインの構築			
	○都市型産業の集積 ・ <b>新しいシゴトの創出</b>	○ICT, IoT, AI(※4)などを活用した次世代インフラの構築 ・ICT, IoT, AIなどを活用した生活の質の向上	○福山城を始めとした歴史的な資産の活用	○福山駅前へのアクセス性の向上 ・ <b>駐車場の再編</b> ・ <b>福山駅前広場の再整備</b>	○エリア価値を高めることができる人材の育成と仕組みづくり ・ <b>公民連携による駅前再生の仕組みづくり</b>	○福山市や備後圏域の地域資源の発掘と磨き上げ
	○イノベーションなどを生み出す好循環システムの構築	○副業などの新しい働き方の推進	○美術館や博物館、文学館などの活用	○自動車や自転車の駐車場の適切な配置	○外国籍の人が活動しやすい環境づくり	○テーマやストーリーのある情報の発信 ・ <b>地域インフォメーションデザイン</b>
	○副業などの新しい働き方の推進	○交流機会の創出	○ばらを活かした憩いの空間づくり	○福山駅前と福山駅周辺の歩行者の回遊性の確保 ・ <b>福山駅周辺エリアをつなぐ動線の形成</b>	○防災性と持続性を備えた都市インフラの再構築	○多様化する情報メディアへの対応
	○若者や女性の就業・創業支援	○市民の居場所づくり ・ <b>パークPFI(※5)等の導入</b>	○市民参画による福山城公園や中央公園の活用 ・ <b>パークPFI等の導入</b>	○歩いて楽しい歩行空間の創出	○レンタサイクルの拡充	○福山アンバサダーからの情報発信
○遊休不動産を活用したビジネスモデルの構築	○多様な手法を活用したまちづくり	○観光客や買い物客など他都市からの集客の向上	○道路規制の強化と緩和	○エリアプロデュースとエリアマネジメントの推進 ・ <b>エリアマネジメント</b>		
○福山らしいコンテンツの創出と集積	○良質な住環境の整備 ・ICT, IoT, AIなどを活用した生活の質の向上	○エリアプロデュースとエリアマネジメントの推進				
取組						

### Ⅲ 各エリアの価値を向上するための優先的な取組

エリア価値を高めていくためには、それぞれのエリア特性を生かしつつ、連続性や多様性を持たせながらまちの資源を使い尽くすことが重要です。ここでは、各エリアに共通する優先的な取組を示します。

#### 【新しいシゴトの創出】

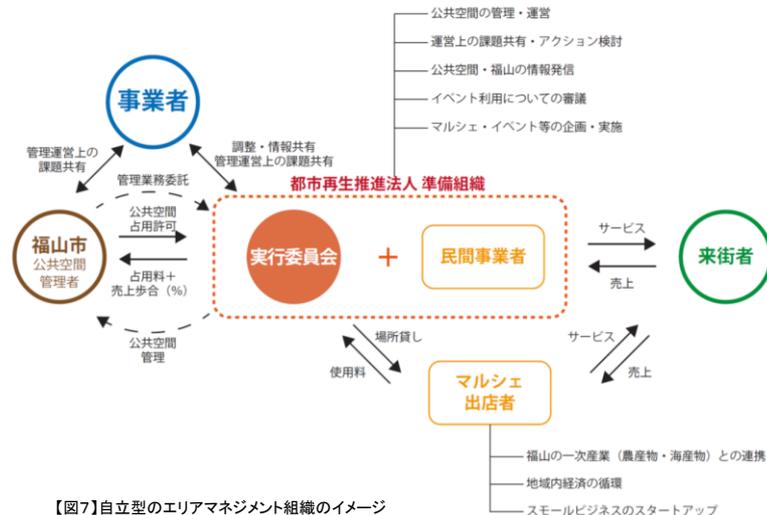
- 福山・備後圏域ならではのコンテンツを活用した都市型産業の集積により、新たなシゴトや雇用を創出し、エリアの稼ぐ力を向上させます。
- 圏域外へ流出した若者や女性、高度プロフェッショナル人材を惹き付けるビジネス環境を整備します。

- ・地元産業や本社機能の誘致
- ・ビジネスマッチングが起こる場づくり
- ・おしゃれなオフィス群の形成
- ・Fuku-Bizによる創業支援の強化
- ・公民連携による企業支援
- ・休暇を活用した新しい働き方の推進  
(ワーケーション (work × vacation))

#### 【ICT, IoT, AIを活用した生活の質の向上】

- ICT, IoT, AIを活用した働き方、学び、子育て、介護、移動など快適な暮らしが実現できる環境を整備します。

- ・従来の交通システムと新たな交通サービスを連続させた移動ができる交通システムの整備 (MaaS※6の実現)
- ・自動運転自動車の実装化
- ・オンデマンド交通※7の導入
- ・知的創造力を刺激する学びの場づくり
- ・安心・安全・快適な空間づくり



【図7】自立型のエリアマネジメント組織のイメージ

#### 【エリアマネジメント】

- 魅力と活力のあるまちとしてあり続けるため、市民や事業者と行政が連携し、収益を上げながらそれを地域に還元する自立型のエリアマネジメント【図7】の仕組みをつくります。

- ・自立型エリアマネジメント組織の設立
- ・駅前再生を担う人材の育成
- ・都市再生推進法人・まちづくり会社の設立支援

#### 【公民連携による駅前再生の仕組みづくり】

- 行政や関係機関、専門家による駅前再生の方向性を議論する場を作ります。
- 行政や市民、事業者の連携によりエリア価値を高めていくための具体的なプロジェクトを企画調整する仕組みをつくります。

- ・福山駅前デザイン会議の運営
- ・公共施設サービスの再構築
- ・行政の推進体制の強化

#### 【地域インフォメーションデザイン】

- 将来を担うパブリックマインドを持った人材や観光客などを福山駅周辺エリアに呼び込むため、良質な情報とイメージの提供によるまちづくりを進めます。
- 行政と民間が連携し、それぞれの視点から新鮮な情報を常に発信できる仕組み(地域インフォメーションデザイン)をつくります。

- ・情報発信の拠点機能の整備
- ・地元産業を盛り上げるプロモーション
- ・まちづくり(駅前の再生)の動きの見える化

### 【福山駅前広場の再整備】

- 駅から城、駅からまちを歩行者空間でつなぎ、駅周辺の回遊性を高めます。
- 鉄道やバス、タクシーなどを利用する人の利便性も維持しつつ駅前広場周辺への交通機能の適切な再配置や訪れた人の安心・安全を見守る機能を強化します。
- ICT, IoT, AIに対応した次世代型の交通システムも想定し、だれもが利用しやすく、魅力のある駅前広場に再整備します。

- ・駅北口広場の再整備
- ・駅前広場の再整備
- ・送迎バス乗降場の再配置

### 【駐車場の再編】

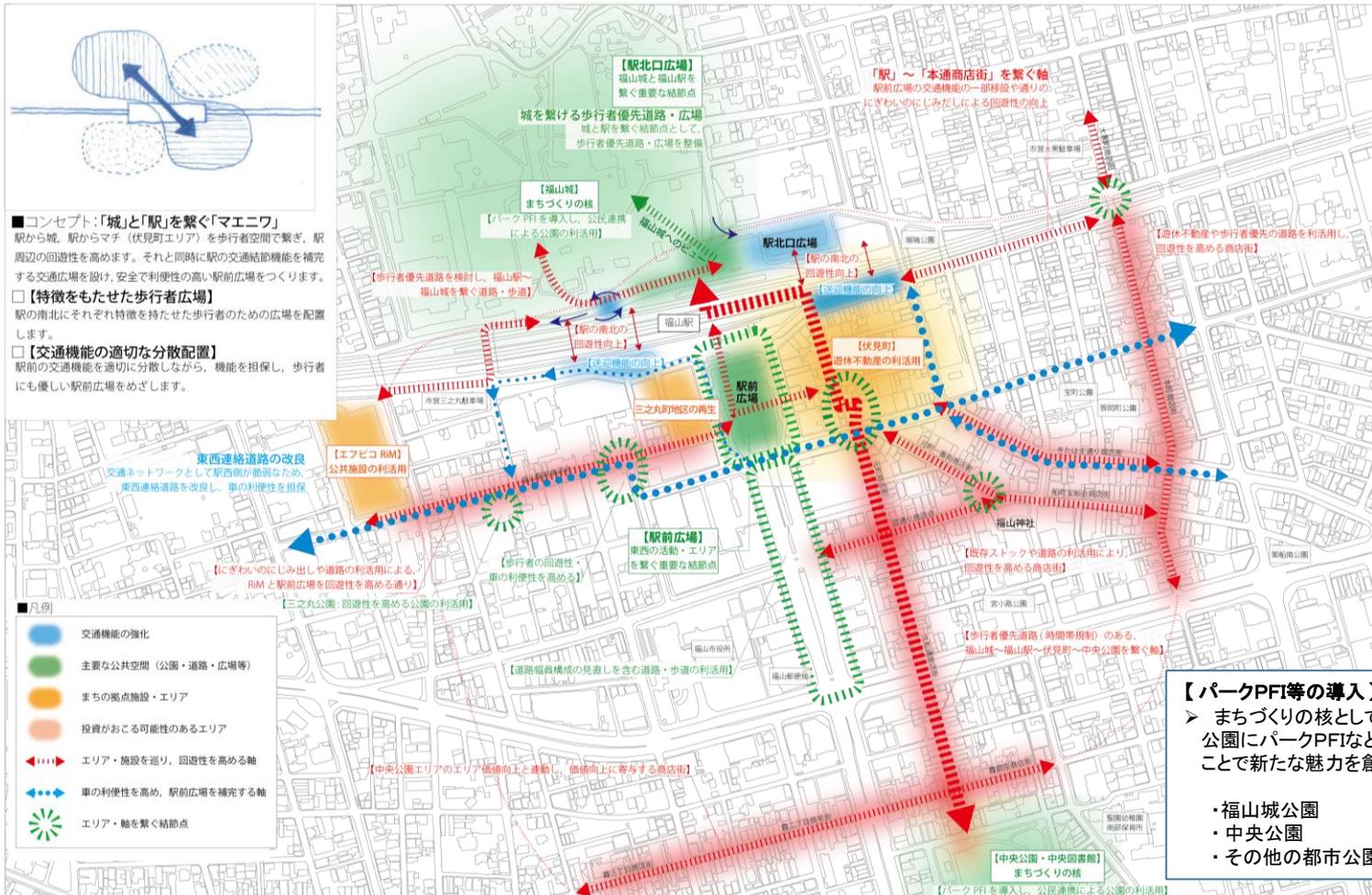
- フリンジ駐車場(※8)の導入などにより駅前エリアへの車両進入を制限するなど、だれもが安心・安全に歩行できる空間を形成します。
- 道路と駐車場を一体的な公共施設として捉え、回遊性を高める新たな活用をします。

- ・都市計画駐車場(※9)としての位置付けを廃止
- ・駐車場配置適正化区域(※10)の設定
- ・駐車場の附置義務(※11)の緩和
- ・自転車駐車場の再整備
- ・公民連携によるフリンジ駐車場の整備

### 【福山駅周辺エリアをつなぐ動線の形成】

- 歩行者と車両が安心・安全に移動できるようにするため、歩行者優先の空間と車両が通過する幹線道路を明確化します。
- 都市のスポンジ化により弱くなった歩行者動線の強化に取り組みます。

- ・歩行者に優しい道路の整備
- ・車道と歩道の明確化
- ・道路の規制の見直しと有効活用



### 【パークPFI等の導入】

- まちづくりの核として位置付けている福山城公園や中央公園にパークPFIなどの公民連携による手法を導入することで新たな魅力を創出します。

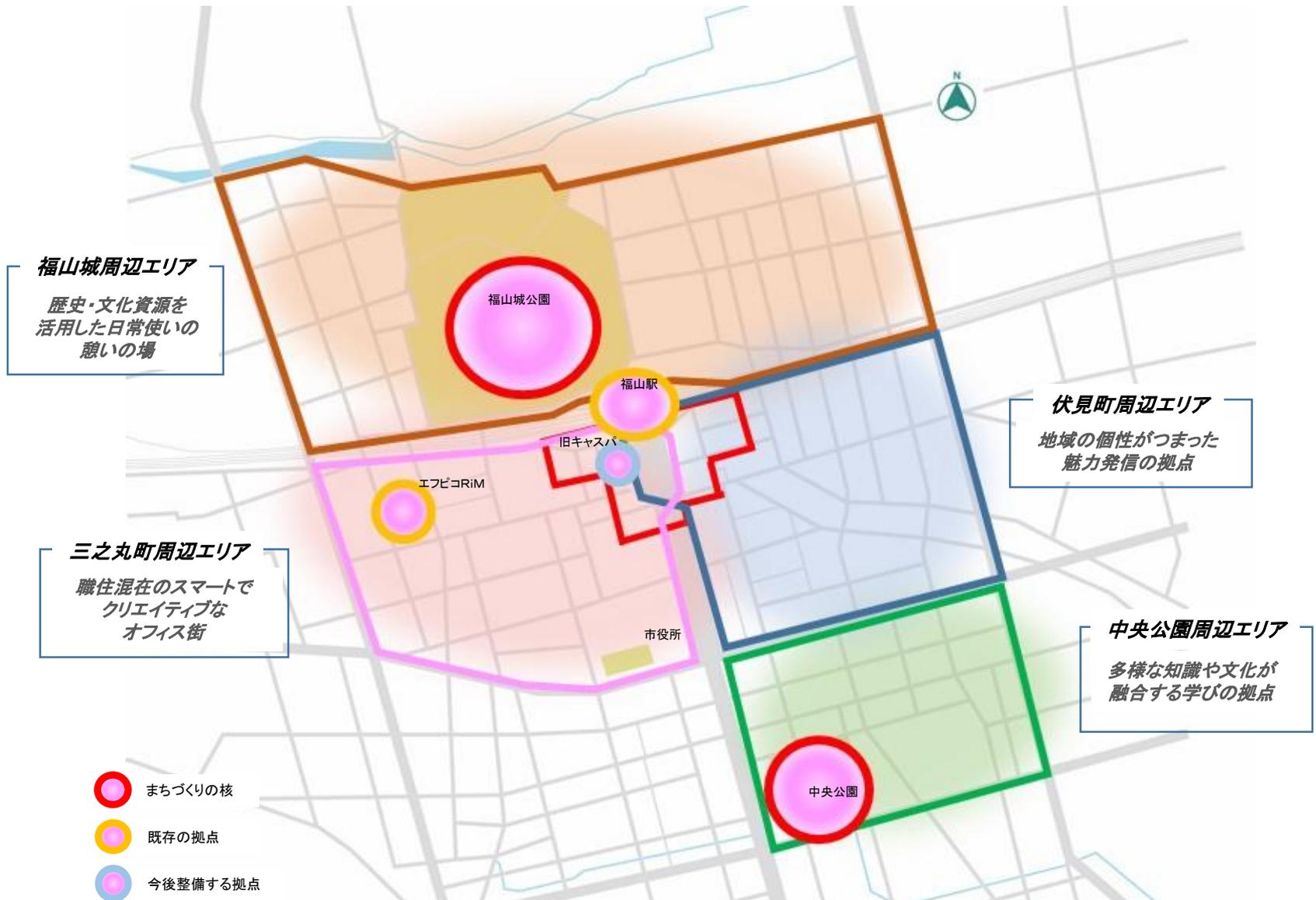
- ・福山城公園
- ・中央公園
- ・その他の都市公園

【図8】駅周辺の道路等利活用デザイン案

#### IV 4つのエリアビジョン

4つに分けた福山駅周辺エリアの将来ビジョンを掲げ、今後取り組むアクションプランと主な関連事業を示します。

ここで示している各エリアのビジョンは、福山駅前デザイン会議での議論や「まちのトレジャーハンティング@福山」で提案された内容をもとに、現在検討中のものであり、2019年度(平成31年度)の福山駅前デザイン会議などにおいて議論します。



【図9】 4つのエリアビジョン

## 福山城周辺エリア

### エリアビジョン

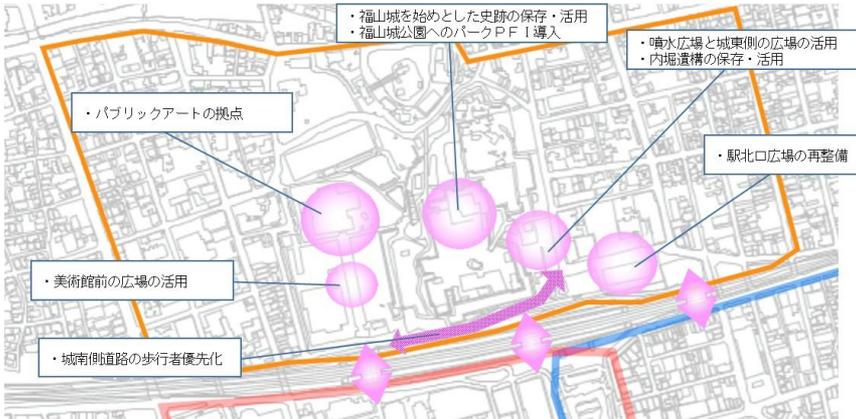
#### 歴史・文化資源を活用した日常使いの憩いの場

##### (エリアイメージ)

- ・福山城や公園が有する歴史、文化、自然、景観、建築物などを積極的に保存・活用し、市民を始めとして観光客も日常的に使う公園と文化施設が融合するエリア
- ・ばらを感じられるエリア
- ・アートを通じた知的エネルギーの発散の拠点
- ・福山城へと人々をいざなう駅北側の玄関口

### アクションプラン

- ・福山城公園と中央公園をつなぎ、まちなかに南北軸を形成
- ・新しい福山暮らしのために、福山城にある施設全体の日常的な活用
- ・パークPFIによる福山城公園全体の保存・活用
- ・ふくやま美術館・ふくやま文学館・福山市人権平和資料館と福山城公園の連携
- ・福山市内の地域の資料館や備後圏域の美術館、博物館との連携



### 想定する関連事業の例示

- ◆ **福山城関連**
  - ・パークPFIの導入
  - ・福山城の耐震化や周囲の樹木の整備
  - ・福寿会館、櫓、湯殿、石垣など史跡の活用
  - ・内堀遺構の保存・活用
  - ・天守などのライトアップ
  - ・噴水広場と城東側広場の活用
  - ・美術館前の広場の活用
  - ・福山城南側直路の歩行者優先化
  - ・IoTを活用した観光情報の発信
- ◆ **芸術・文化関連**
  - ・鞆の浦 de Art など芸術イベントとの連携
  - ・パブリックアートの拠点
- ◆ **福山駅北口広場整備関連**
  - ・駅北口広場の再整備
  - ・送迎バス乗降場の再配置
  - ・パーク・アンド・ライド駐車場やフリンジ駐車場の整備

### ロードマップ

2020

2025

2030

#### ◆ 福山城関連

事業名	事業内容	事業スケジュール
		次年度検討

#### ◆ 芸術・文化関連

事業名	事業内容	事業スケジュール
		次年度検討

#### ◆ 福山駅北口広場整備関連

事業名	事業内容	事業スケジュール
		次年度検討

## 伏見町周辺エリア

### エリアビジョン

#### 地域の個性が詰まった魅力発信の拠点

(エリアイメージ)

- ・瀬戸内ツーリズムの玄関口として、訪れた人に福山の地域資源やエリアの個性的な魅力を提供できるエリア
- ・福山城の史跡や福山の過去のまちなみを体感できるエリア
- ・デニムなど福山の地場製品が集積するエリア
- ・新旧の建築物が混在することによる広範囲な文化、居住、ビジネスの多様性のあるエリア

### アクションプラン

- ・リノベーションスクールなどを通じた新規テナントの連鎖的な発生
- ・伏見町のブランドイメージを確立する自立型のエリアマネジメント組織の立ち上げ
- ・まちに関わる人のコミュニケーションの場や仕組みの整備
- ・デザインコードを設定するなどエリアコンセプトの共有
- ・安心・安全に回遊できる、歩いて楽しい歩行空間の形成
- ・人々を駅前広場と伏見町、中央公園へといざなう歩行空間の形成



### 想定する関連事業の例示

#### ◆ 瀬戸内ツーリズムの玄関口関連

- ・リノベーション(※12)によるまちづくり
- ・瀬戸内ツーリズムのゲート機能の強化
- ・ナイトタイムエコノミー(※13)

#### ◆ 歩いて楽しめる空間づくり関連

- ・駐車場の集約化、多目的利用
- ・史跡を生かした広場整備
- ・自立型のエリアマネジメント
- ・オープンストリートフクヤマ
- ・久松通り、宮通り、本通りなどとの連携
- ・さんすてとの連携
- ・駅前アートプロジェクト
- ・暫定自転車駐車場の解消
- ・駐車場配置適正化区域の設定

### ロードマップ

#### ◆ 瀬戸内ツーリズムの玄関口関連

事業名	事業内容	事業スケジュール
次年度検討		

#### ◆ 歩いて楽しめる空間づくり関連

事業名	事業内容	事業スケジュール
次年度検討		

## 三之丸町周辺エリア

### エリアビジョン

#### 職住混在のスマートでクリエイティブなオフィス街

##### (エリアイメージ)

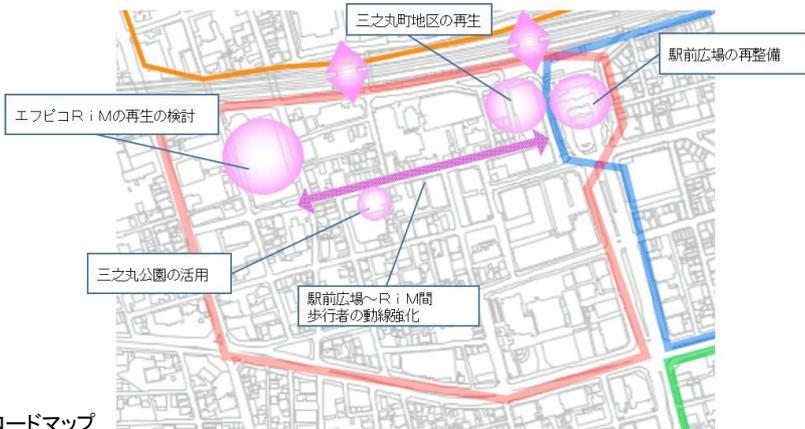
- ・備後圏域の玄関口として広域性や拠点性を備えた高次都市機能(※14)が集積したエリア
- ・新旧の建築物が混在することによる広範囲な文化、居住、ビジネスの多様性のあるエリア
- ・様々な働き方が選べるオフィスが集積した若者や女性を惹きつけるエリア
- ・時代に合った民間投資を呼び起こすエリア
- ・地域の個性の集まった店が道路沿いに並ぶ歩いて楽しい歩行空間
- ・外国人やビジネスパーソン、観光客など多くの人を迎えるワークスペースやホテルなど交流が生まれるエリア
- ・食や医療・福祉、健康など生活関連サービスの創業・起業を支援するエリア

### アクションプラン

- ・路面～2階部分をだれでも活用できるパブリックな用途として整備するルールの設定
- ・内装や外装の建築資材にこだわったオフィス空間や居住空間をデザインできる地元企業の発掘
- ・民間コンテンツと公共コンテンツのベストミックスによる商業施設の再整備
- ・交流人口を呼び込むアトラクション
- ・道路交通網の見直し
- ・公園や道路などの公共空間を活用したエリアの不動産価値を高める自立型のエリアマネジメント
- ・備後圏域の玄関口にふさわしい市街地環境の整備

### 想定する関連事業の例示

- ◆ 新しいシゴト創出関連
  - ・Fuku-Bizによる創業支援
  - ・地元産業や本社機能の誘致
  - ・快適な職住近接生活ができるオフィスや住宅の整備
- ◆ 歩いて楽しめる空間づくり関連
  - ・駅前広場からエフピコRiMまでの歩行者動線の強化
  - ・公民連携による駐車場運営
  - ・三之丸公園や福山駅西町線を活用した自立型のエリアマネジメント
  - ・オープンストリートフクヤマ
  - ・駅前アートプロジェクト
- ◆ 交流人口増加関連
  - ・MICE(※15)の招致
  - ・ナイトタイムエコノミー
  - ・駅前アートプロジェクト
  - ・観光客の誘致
- ◆ 三之丸町地区の再生関連
  - ・旧キャスパ等の建替え
  - ・エフピコRiMの再生の検討
  - ・地元商店などと連携した自立型のエリアマネジメント



ロードマップ

2020

2025

2030

#### ◆ 新しいシゴト創出関連

事業名	事業内容	事業スケジュール
		次年度検討

#### ◆ 交流人口増加関連

事業名	事業内容	事業スケジュール
		次年度検討

#### ◆ 歩いて楽しめる空間づくり関連

事業名	事業内容	事業スケジュール
		次年度検討

#### ◆ 三之丸町地区の再生関連

事業名	事業内容	事業スケジュール
		次年度検討

## 中央公園周辺エリア

### エリアビジョン

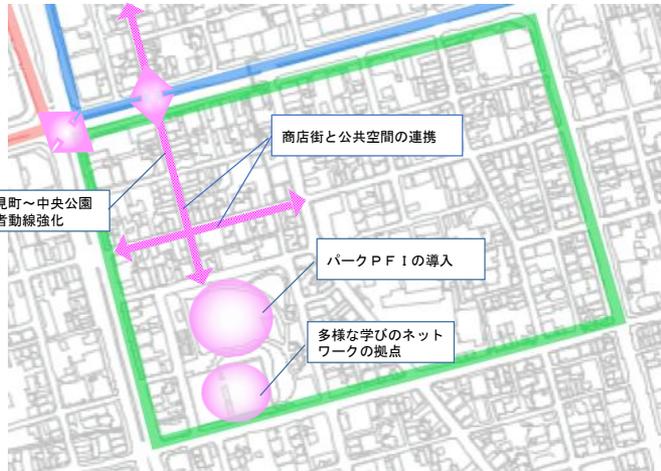
#### 多様な知識や文化が融合する学びの拠点

(エリアイメージ)

- ・市内の大学や高校などの教育機関が有する多様な専門性や技術のネットワークの拠点
- ・リベラルアーツ(※16)を形成する自立を促す学びのエリア
- ・中央公園を中心とした公共空間が育む豊かな日常の風景があるエリア
- ・瀬戸内と備後エリアの魅力や情報が集まるツーリズムの中継地点
- ・子どもたちの知的好奇心を刺激するエリア

### アクションプラン

- ・相乗効果を上げる中央公園と中央図書館の一体的な活用
- ・中央公園の使い方のリノベーション
- ・福山城公園と中央公園をつなぐ南北軸の形成
- ・市内の大学や高校などの教育機関が連携し、中央図書館や中央公園をラボとして活用
- ・商店街と公共空間の連携によるエリア価値向上の取組



### 想定する関連事業の例示

#### ◆ 中央公園関連

- ・パークPFI制度の導入
- ・駐車場配置適正化区域の設定
- ・ローズロードを活用した回遊動線
- ・ナイトタイムエコノミー

#### ◆ 学びの拠点関連

- ・大学や高校との連携
- ・中央公園、中央図書館と商店街が連携した自立型のエリアマネジメント
- ・情報発信機能の整備

### ロードマップ

	2020	2025	2030
<b>◆ 中央公園関連</b>			
事業名	事業内容	事業スケジュール	
		次年度検討	
<b>◆ 学びの拠点関連</b>			
事業名	事業内容	事業スケジュール	
		次年度検討	

用語解説

1	コンテンツ	まちを構成する人や産業のこと。
2	都市のスポンジ化	都市の内部において、空き地、空き家等の低未利用の空間が、小さな敷地単位で時間的・空間的にランダムに、相当程度の分量で発生する現象のこと。(「都市計画基本問題小委員会中間とりまとめ概要」2017年 国土交通省)
3	QOL	Quality of Lifeの略。生活の質
4	ICT, IoT, AI	Information and Communication Technology(情報通信技術), Internet of Things(モノのインターネット), Artificial Intelligence(人工知能)の略
5	パークPFI	飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」のこと。(「都市公園の質の向上に向けたPark-PFI活用ガイドライン」2017年 国土交通省)
6	MaaS	Mobility as a Serviceの略。出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念のこと。(国土交通省)
7	オンデマンド交通	利用者の要求に応じて路線・ダイヤを柔軟に変えながら運行する公共交通システム
8	フリンジ駐車場	地区の中心部への自動車流入を抑制し、自動車と歩行者の動線分離を図ることなどを目的に、地区の周縁部(フリンジ)に整備する駐車場のこと。
9	都市計画駐車場	都市計画決定に基づき整備する駐車場
10	駐車場配置適正化区域	都市機能誘導区域内であって、医療施設、福祉施設、商業施設の誘導・集積に伴い、自動車の流入が増加し、高齢者や買い物客等の往來の増加が予測され、駐車場へ向かう自動車と歩行者との交錯を生じる恐れが高いエリアとして、立地適正化計画に設定する区域
11	駐車場の附置義務	地方公共団体が、駐車場整備地区等において、建物の延べ床面積が一定規模以上の建築物の整備に当たって、その建築物の建築主に対して自動車の駐車のための施設の附置を義務付ける制度

12	リノベーション	古い建築物の機能を今の時代に適したあり方に変えて、新しい機能を付与すること。(国土交通省)
13	ナイトタイムエコノミー	夜間における経済活動のこと。
14	高次都市機能	日常生活を営む圏域を超えて広域的に影響を及ぼし、地域の自立的発展に資する都市機能のこと。(「備後圏域の整備、開発及び保全の方針」2011年広島県)
15	MICE	企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称のこと。(観光庁)
16	リベラルアーツ	専門職業教育としての技術の取得とは異なり、思考力・判断力のための一般的知識の提供や知的能力を発展させることを目標とする教育を指すものとされる。(文部科学省)